



MGU Chapel Letter

—第 14 号 2022 年 7 月 30 日—

発行：大学宗教センター



* 2022 年度聖句 *

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3 章 22 節



❖ 大学礼拝 秋のスケジュール

前期の大学礼拝は、7 月 20 日（水）に終了しました。

後期の礼拝は、9 月 21 日（水）から始まる予定です。

【週3回、昼休みの 12 時 10 分～30 分に礼拝堂で】

❖ [学外イベント案内]

ポンペイ展で、新約聖書の世界に触れよう！

夏の間ぜひ見てみたい仙台の催しと言えば、宮城県美術館で開催中のポンペイ展です。ヴェスヴィオ火山の噴火で埋もれたローマ人の町・ポンペイで出土した美術作品、日用品が 130 点展示されています。

この展示は、キリスト教の視点からも興味深いものがあります。ポンペイが埋没したのは西暦 79 年。イエスが十字架にかけられたのが 30 年頃であり、伝道者パウロが地中海世界に福音を伝えていたのが 40～50 年代。マルコによる福音書の成立は 70 年頃。つまり、ここに展示されているものは新約聖書時代の地中海文化そのものです。パウロがローマで使っていた日用品は、ポンペイ展にあるものとほぼ同じでしょう。

実際、研究者の中には、「ポンペイの住民の中にはキリスト教徒もいたのでは？」と考える人もいます。多くの想像力をかき立ててくれるこの催し、見逃したくないですね。

7 月 16 日（土）から 9 月 25 日（日）まで。

（栗原）

▶ ポンペイ展 公式総合サイト <https://pompeii2022.jp/>

▶ ポンペイ展（仙台） <https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/exhibition-20220716-s01-01.html>

キリスト教センター所属サークル 活動の紹介

❖ 聖歌隊の活動

「ライブ」で歌をうたうこと、声を合わせることで、その本来出来ていたことがこの2年余り失われていました。今年度聖歌隊は新たな仲間を10名増やすことができ、いよいよ大学祭(10/15)で行なわれます「定期演奏会」に向けて本格的な練習を重ねています。礼拝堂の豊かな空間で声を重ね、心を合わせていくこと、そのプロセスは欠かせません。フランスの作曲家G・フォーレの「小ミサ曲」をメインとして、様々な国による作曲家の讃美の歌にも取り組んでいます。



ウクライナ侵攻の一日も早い停戦を願い、悲しみに暮れる人たちに寄り添い、その思いと祈りを込めて、秋の演奏会のテーマを詰めているところです。さらに、秋以降はクリスマスに向けて、ハンドベルとの共演や教会への奉仕讃美など、さまざまな活動を精力的に行っていきたいと思います。感染対策に取り組みながら、仲良く活動しています。

(指導 音楽科 船橋 洋介)

❖ YWCAの取り組み

YWCAはクリスチャンでなくても、興味関心がある方は誰でも参加できます。現在の活動内容は、学生主体で企画し本学の先生方に戦争や平和等をテーマに話していただく「自主講座」やフィールドツアーの企画、読書会などです。

9月19日(月・休)に花巻へのフィールドスタディ、10月15日(土)には大学祭での企画として末光眞希学長にお話しいただく自主講座を予定しています。

参加希望の方はご連絡ください。また毎月第二・第四火曜日昼休みに礼拝堂二階ヴェリタスで定例会を行いますので、いらしてください。(松本)

❖ ハンドベルクワイア：メンバー募集中！

ハンドベルは一つのベルが一つの音を出します。高音(手のひらサイズの小さいベル)から低音(顔より大きいベル)までをクワイアのメンバーが分担して演奏することにより、ハーモニーが奏でられます。その繊細で荘厳な響きは「天使の歌声」とも称されます。皆さんも息を合わせ、心を合わせて、一つの曲を演奏するハンドベルの世界を経験してみませんか。現在は毎週火曜日18~19時に礼拝堂二階ヴェリタスで練習しています。皆さんのお越しをお待ちしています。なお、参加者の時間割等を相談して練習日時を設定するようにしています。(松本)

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp